

事例名

「指導と評価の一体化」の具現化に向けた ICT での振り返りシートの活用

校種・学年	高等学校・3 年および 2 年		
教科・科目・単元・題材	国語科で担当した授業すべて		
学校名〈任意〉	京都府立丹後緑風高等学校 (網野学舎)	事例報告者氏名〈任意〉	勝山 鉄矢
機能名(アプリ名)	ロイロノート		

ICT 活用のポイント

「指導と評価の一体化」を実現するために、ロイロノートの提出機能を活用して、毎時間の目標の共有・目標に即した課題への取組、授業内の理解度評価や主体性に繋がる感想などを提出させた。指導者側はその日の授業の目標・課題を明確にして授業に臨み、その理解度などを即日評価できる。生徒は目標・課題を意識しながら授業を受け、質問や授業を起点とした発想などを言語化することになる。その評価をしながら次回の授業の展開を考えることで、「指導と評価の一体化」が円滑に実現できるようになった。

活用場面

(授業前) 授業の設定を行う。(観点・目標・課題)

①授業開始時に、「本時の目標と問い」を共有する。

※前時にも振り返りをさせている場合は、そのフィードバックから行う。(大まかな解答・質問への回答など)

②目標や問いに沿った授業を行う。

③終了5分前に「問い」についての解答、および感想を書かせる。

④授業後に提出されたものを即日評価する。(即日返却) ※評価だけでなく、コメントも可能な限り書く。

→その解答内容から本時の理解度を測り、かつ感想などで発展的または連鎖的な発想があれば次回の授業の導入に活用するなど次回の展開を考える。

The screenshots show the '振り返りシート' (Reflection Sheet) interface in the Royoro app. The first two screenshots show the '振り返りシート' form with fields for '単元' (Unit), '教材' (Text), '本時の目標' (Lesson Objectives), and '本時の問い' (Lesson Questions). The third and fourth screenshots show the '振り返りシート' form with handwritten student responses and teacher evaluations. The teacher's evaluation includes a grade (A, B+, B, C) and a comment (コメント) such as '授業中の発言が活発で、授業の展開をよく考えた。' (Active participation in class, well thought out the development of the lesson.)

授業者のコメント・児童生徒の主な反応等

生徒からは、授業の内容を振り返れるとともに、挙手をしたり自ら質問に出向いたりすることなく授業の補充ができることは利点である。指導者としては、様子を見て回るだけでは見取れない理解度を、公平な視点で評価できるのが良い。またロイロノートの特性として、提出物は累積されてデータで残るので紛失のおそれもなく、授業ごとに評価をしておいて、単元評価の際にまとめて成績処理に加算するなど処理の面でも利点があると考える。